

伏尾台地区活動計画



ささえあい、助け合うまち 伏尾台

伏尾台地区の理想の地域

- ・子どもや若者の多いまち
- ・高齢者が安全、安心して暮らせるまち
- ・住民同士のふれあい豊かなまち
- ・助け合い・支え合いのまちづくり
- ・災害に強いまち
- ・花いっぱいのもち



皆で知り合って
困ったときに
すぐに助け合えるまち

伏尾台はいろいろな団体の活動が盛んで充実している

伏尾台地区福祉委員会の活動

- ・街角サロン、ふれあいサロン「伏尾台」
- ・ひとり暮らしの会「マシュマロ」
- ・ラジオ体操
- ・男性料理教室
- ・チャレンジ料理教室「作喰太郎クラブ」
- ・ワンコイン たすけあい
- ・古江台ホール 喫茶ボランティア
- ・ウォーキングの会
- ・「清掃布づくり」ボランティア
- ・カーボランティア「伏尾台」
- ・車いす・プロジェクターの貸し出し
- ・毎日1日清掃デイ
- ・ティーサロン(第1コミセン、第2コミセン、2丁目北、ビューハイツ・セラージュ)
- ・いきいき百歳体操
- ・花の会ボランティア
- ・伏尾台ガーデンズ
- ・伏尾台リサイクルの会
- ・しょうがいしゃの会「パンダ」
- ・「東山作業所」ボランティア
- ・子育てサロン「汽車ポッポ」

コミュニティ
推進協議会

民生委員・
児童委員

自治会
こども会

緑友会

- ・子育て支援
- ・居場所づくり
- ・移動支援
- ・登校時の見守り
- ・趣味活動
- ・介護予防
- ・スポーツ振興
- ・環境美化
- etc...

スポーツ
振興会

防災・防犯
委員会

活動を継続していくためには…



いろんな団体・組織が協力しあおう



住民懇談会

①こまめな情報の発信

世代別に!!

- ・掲示板の工夫
- ・ラインを活用、利用していない人だけ回覧板を利用
- ・ホームページやフェイスブック
- ・若者はインスタグラム

②身近な場所をつながりづくり

- ・丁目ごとにティーサロンを作る
- ・暮らしの相談窓口を設ける
- ・自治会参加率のアップ
- ・隣近所の助け合い制度
- ・子どもたちの要望、提案を聞く



ティーサロン

③若い人に担い手として参加してもらおう

- ・地図作り、公園の清掃など親子で参加できることをする
- ・若者・子ども達に喜んでもらえるイベントの開催
- ・花いっぱい運動で街をいろどる
- ・空き家、公園、旧学校の活用

自然の活用



ラジオ体操

- ・学校との情報共有
- ・子どもを中心として多世代がつながる

より多くの人に活動を知ってもらって、参加者を増やし、担い手を増やそう

細河地区活動計画



声かけあって笑顔あふれるまち細河

細河地区の理想の地域

- ・人と人とのつながりを大切にするまち
- ・新しい人を受け入れ、活気のあるまち
- ・障がい福祉の充実
- ・近所づきあいが多いまち
- ・人口増加、高齢化防止
- ・子育てしやすいまち
- ・農業、植木を身近に感じてもらえるまち
- ・お花畑
- ・たくさんの人に来てもらえるまち
- ・自然も豊かできれいなまちを広めたい
- ・災害や食糧危機に備えている
- ・高齢者も外出しやすいまち

細河地区の現状



<植木の四大産地>

・自然

大阪の奥の細道、植木、田んぼ、草花、温泉、ゴルフ場
余野川の川遊び、バーベキュー、ホテル、家庭菜園・・・

- ・自然を知ってもらう機会を!
- ・細河の植木に触れる場を!

細河地区の活動



子育てサロン(グリーンキッズ)



グランドゴルフ

理想の地域実現のための具体的な方法



住民懇談会

つながりを作っていくために
多くの団体、人が参加している話し合いの
場を作り交流・意見交換を行おう！

話し合いの場を作ることで・・・

☆横の**つながり**を作ろう

- ・地区福祉委員
- ・民生委員・児童委員
- ・地域コミュニティ推進協議会
- ・自治会連合会
- ・福祉施設
- ・ふらっとイケダ
- ・ほそごう学園 など

☆住民同士**つながろう**

- ・住民が気軽に集まれる場
- ・子ども～高齢者まで集える公園

☆**広報**

- ・それぞれの団体や行っている活動を地域の方に知ってもらう。
- ・空き家の PR

休耕地の
利用

☆**細河の自然を PR**

- ・ひまわり、コスモスなどの花畑を作る
- ・旧細河小学校の桜でお花見イベント
- ・空き家に移住して、自然の豊かさで子育てを！
- ・収穫体験

若い人の
活躍の場

・高齢者にお弁当の配布
(コミュニティ推進協議会福祉部)
配布と同時に見守りも実施しているが、民生委員・児童委員、地区福祉委員や地域包括支援センターと連携し情報共有ができれば・・・

↓
見守りが充実し、
対象者の発掘にもつながる。

秦野地区活動計画



つながろう! 秦野の「わ」

秦野地区の理想の地域

- ・子どもが元気で明るいまち
- ・高齢者が住みやすいまち
- ・子どもから高齢者まで様々な世代が気楽に交流できるまち
- ・町会、自治会に全員が加入し、お互いに挨拶ができる地区
- ・ボランティアの担い手がたくさんいるまち (特に若い世代)
- ・安全・安心なまち
- ・災害(防災)に強い地域・地区に
- ・こども会(自治会)が活気ある地域
- ・助け合いができるまち
- ・自然の残る場所・まちに

秦野地区の現状

秦野地区特有のもの(秦野には財産がある)

・自然

石澄川・滝
裏山(秦山)
姫ボタル



・地域行事

祭り・太鼓



これらを活かさないか…。

秦野地区の活動



秦野フェスタ



渋谷高校生と地区福祉委員との話し合い

理想の地域実現のための具体的な方法

多くの団体が参加している集まりを行い、情報共有を図ろう。

情報共有することでお互いを知り、協力していこう。

(横のつながり)



住民懇談会

☆線引きのない情報提供をする!! (裾野を広げていく)

祭りの魅力やこども会, 町内会の活動やキッズランドの現状などを知ってもらう。所属していない人にも知らせる。→会員を増やすことにもつながる。

- ・掲示板の工夫 (目立つように、気を引くようにアナウンス)
- ・自治会未加入の住民にも回覧板で情報提供
- ・SNSの活用

など...

誰でも参加できるような仕組み作り

まちのことを人任せにせず我が事にする

→みんなで取り組んでいこう

子ども、災害(防災)、祭り、清掃活動、自然を活かした活動など...

つながるきっかけとして、子どものイベントの企画、開催
(昔の遊び体験、畑の利用、自然の活用...)

・祭りについて

太鼓はこども会に入っている男子小学生が参加しているが、他の小学生や中高生、大学生にも参加してほしい。

・キッズランドについて

手伝いをする人が少なく高齢化しているので若い人に参加してほしい。

・通学の見守りを増やす

・地域の方の授業参観(学校に地域の人が行く機会を増やす)

・秦山のハイキングコースを整備して...

子ども達と実際歩きながら昔の山の様子や歴史を案内

学校と連携しながら...

若者も担い手に

多世代交流ができ、**縦のつながり**もできる!!

横のつながり
縦のつながり

を活発にしていこう!!

池田地区活動計画



色んな人 みんなつながる池田地区

つながりを作っていく
池田地区の福祉活動

福祉活動や懇談会の中で話し合い

地域のあたたかな見守り、声かけ訪問



熱中症対策のためお茶と塩飴をもって訪問

地域の身近な場所でのつながりと活動



七夕まつり 笹と七夕飾りをプレゼント
駅前商店街で多世代交流のイベントを開催

学生や多くの団体・住民・行政・社協も参加



令和4年10月30日(日)
住民懇談会 保健福祉総合センター

池田地区の理想

- ・地域でつながりがあり、高齢者が安心して暮らせる
- ・子どもから高齢者まで多世代交流ができる
- ・地域活動に多くの人参加、つながりを実感できる
- ・ICTなど時代や必要に合った福祉が充実している
- ・地域の各団体と連携して、企画や活動をする
- ・若い世代の人が地域活動に参加してくれる
- ・多世代の方が気軽に話をできる居場所がある
- ・駅前や商店街がにぎわい、地域の居場所となる

計画でまとめると

実現するための取り組み方

- ・近所の人を気かけられる、最初のつながりづくり
- ・マンションなど、つながりや見守りの薄い場所との話し合い、地区福祉活動の説明の機会を作る
- ・お祭りや学習など、多世代がふれあえる企画をする
- ・掲示板、回覧板、チラシなど地域広報で地区活動を宣伝
- ・当事者の実際の声を聞ける、話し合える場所を作る
- ・各団体や多世代と情報共有ができる場所をつくる
- ・活動の役割や負担が重くない、やりがいや楽しさを伝えられるように、地区活動の運営体制を見直す
- ・商店街を活用したイベントの開催や居場所づくり

一人ひとりを大切にする、日々のつながり

① 今ある人と活動を大切にする

- ・活動のやりがいを再発見するため、地域の福祉活動を話し合う場を作る
- ・運営体制を見直し、無理なく継続して活動できる体制づくりを考える

② 地域の見守りの目を広げる、気づく

- ・向こう三軒両隣の見守り、声かけをする。気になる人は全体で話し合う
- ・専門機関、福祉施設などの研修や話を聞き、福祉の観点を深める

③ 一人ひとりの声を拾い、それに基づいた活動を考える

- ・地域住民の生活のお困りごとをまとめ、定例会で話し合う
- ・参加者が、やりがいや参加する喜びを得られる活動を考える
- ・参加できない、していない住民の思いに寄り添って考える

④ ロコミを広めるため、出向いて参加を呼びかける

- ・他の団体や活動に参加し、活動紹介をする
- ・参加のハードルを下げる体験や活動を検討する

すべての取り組みがつながっていく

地域資源への気づきと活用



様々な団体・組織と交流し、協力していく

- ・イベントなどで、団体や世代の垣根を越えて協力、参加できる活動をする
- ・他団体主催のイベントにも参加し、顔見知りを増やして地域活動を知る
- ・地域の各団体が集まり、意見交換をする
その中で重なる活動は協力できないか話し合う

身近で愛着のある場所を使う

- ・商店街のお店や地域の場所に声をかけ、一緒にできる活動を考えていく
- ・地域活動を身近に感じてもらうため、歩いて行ける、見える場所で活動をする

伝える、伝わるための関わり

お互いを気にかけてあえる関係づくり

- ・関わりが難しい人や場所の情報共有をする
- ・専門機関や周りの人と相談しあえる場を作る

つながりが薄いところへの関わり

マンション・地域

- ・マンションの管理者に話し合いの場を提案する
- ・掲示板や回覧板などへの広報の掲載を依頼する

子ども・若者

- ・子どもを対象とした居場所、イベントを行い、地域活動を知ってもらうきっかけ作りをする
- ・学校の教育に協力できる活動を考え、提案する

高齢・障がい・外国

- ・移動、障がい、言語などの壁を意識したバリアフリーな活動、広報。ICTも検討する

みんなつながる、孤立させない地区福祉をめざす

五月丘地区活動計画



坂の町

みんな元気な五月丘地区

つながりを作っていく
五月丘地区の福祉活動

福祉活動や懇談会の中で話し合い

地域の身近な場所でのつながりと活動



五月丘地区ふれあいサロン
さわやか地域包括支援センター職員の健康体操

地域住民と子育て世帯の交流



五月丘地区子育てサロン
歌や絵本読み聞かせで子育て世帯と交流

学生や多くの団体・住民・行政・社協も参加



令和4年10月15日(土)
住民懇談会 五月丘会館

五月丘地区の理想

- ・高齢者が元気に楽しく、安心して暮らせる
- ・地域で子どもを見守り、子育てに取り組む
- ・近所づきあいが楽しく、気軽にできる
- ・色々な世代の人が顔を合わせる場所がある
- ・近所の人の人柄がわかり、挨拶ができる
- ・五月山の自然に癒される、キレイなまち
- ・災害などで困ったとき、声を掛け合える
- ・既存の施設を利用した集いの場がある

計画でまとめると

実現するための取り組み方

- ・地域での見守り、声かけの活動をする
- ・ご近所で対話、ふれあいができる場所をつくる
- ・スポーツ、芸術など多世代交流ができるイベントの企画
- ・公園、共同利用施設、学校など地域の場所を活用
- ・子育て支援の居場所の活動を増やす、周知する
- ・地域のシニア人材を発掘、企画に協力してもらう
- ・五月山の坂道や自然の美化を楽しめる活動の企画
- ・自治会など、地域の各団体などと一緒に企画する
- ・災害時をイメージした活動をする

地域の見守り、隣近所のつきあいを広げていく

① 地域で気になる人、見守り活動について考える

- ・隣近所で気になる人が居ないか、様々な地域の人で話し合う場をつくる
- ・気になる人にどう関わられるか、見守りや声かけのきっかけ作りを考える

② 見守り、声かけでつながりを増やしていく

- ・日々の挨拶をしていき、向こう三軒両隣の見守り、つながりを作っていく
- ・配食などの訪問活動、ごみ捨てなど簡単な家事手伝いで声かけをしていく

③ 一人ひとりの声を拾って、地域で共有していく

- ・見守りや声かけの中で聞いた生活の困りごとについて定例会で話し合う
- ・困りごとや地域課題をまとめ、地域の各団体で話し合い、共有していく

「つながり」と「やりがい」がある、みんな元気な五月丘

つながり＝ご近所同士で気持ちよく挨拶できる、人柄が分かる関係

やりがい＝地域の中で参加できる、役割がある場所があり

生き生きと活動できること

五月山の地理や資源を活用していく

五月丘の坂道、公園、設備を活用する

- ・五月山の坂道をみんなで楽しく歩ける企画
例：お正月のご来光、自然観察、美化運動など
- ・塩塚公園、五月丘緑地を会場として使う
既存のイベントも外で実施できないか考える
- ・共同利用施設など地域の施設の活用方法を考える

様々な団体・組織が協力して企画をする

- ・こども会、町内会と合同でふれあい行事を企画する
例：町会ごとでチームを作り、競い合えるイベント
 - ・防災など地域全体が関わることでイベントを行う
例：小学校、公園でテント設営や炊き出しをする
- ⇒既存の行事も各団体で協力できないか考える

多世代がつながる機会と居場所づくり

世代を超えてつながれる機会づくり

- ・シニア人材が子育て世帯を支えられる企画
例：子育ての相談や育て方を学べるサロン
習い事、趣味の体験講座、学校の勉強支援など
- ・お祭り、スポーツ大会などへの協力と参加
例：誰でも一緒に参加できるバリアフリーな企画

つながりを継続するための居場所づくり

- ・マンションの独居高齢者、4、5丁目の住民など
つながりが薄い、参加しにくい人を対象に考える
 - ・活動情報を地域の各団体で共有しあう
広報を各団体の回覧板、掲示板などに掲載する
- ⇒気軽に近くて集まって話せる居場所をつくる

呉服地区活動計画



笑顔で声かけ 見守りのまちくれは

呉服地区に住んでよかった、いつまでも住み続けたいと思うまちをめざして、いろいろな団体が協力して、自分たちができることから、取り組んでいきます。

呉服地区の理想の地域

- 高齢者や子どもなど多世代の居場所がある
- 高齢者や子どもなど地域の人が交流できる
- 高齢者が安心して暮らせる
- 困った時に「助けて」と言える
- 気軽に声を掛け合える
- 顔の見えるつながりがある
- 支え合い、助け合える
- お祭りやイベントがたくさんある



理想の地域を
実現するために

①人をつくる

- 子どもたちをみんなで見守ることで、成長したときに見守る側になってもらえる
- 元気な高齢者が子どもの見守りを行う
- 地域活動の協力者を増やす
- 子どもたちや親などが一緒にボランティア活動を行う
- 他の人のために自分の得意なことを活かす



②居場所をつくる

- 町内会単位で誰でも参加できるサロンの開催
- 介護施設などでこども食堂の実施
- 無料で勉強やいろいろなことを教える場所の開催
- 不登校の子などの居場所づくり
- ひきこもりがちな高齢者の居場所づくり



③つながりをつくる

- 学校とのつながりづくり
 - ・子どもから地域に関わる機会を作る
 - ・学校に地域の方を招く機会を増やす
 - ・校区探検や地域訪問の時に子どもたちを見守ってもらう
 - ・地域の人が学校の手伝いをする
- 外国の人たちとのつながりづくり
 - ・外国の子どもたちへ日本の料理を教え、外国の人たちからも外国の料理を教えてもらう
 - ・母国語教室に地域の人に来てもらい、言葉だけでなく文化も伝えあう
- 地域のつながりづくり
 - ・マンション内でのつながりをすすめる
 - ・子どもたちの親と地域とのつながりをすすめる
 - ・ひとり暮らし高齢者の見守りを行う
- イベントの実施
 - ・炊き出し、市民レクリエーション、盆踊りなどに子どもや高齢者が参加し多世代とつながる
- あいさつ
 - ・あいさつ運動の実施



まったりサロン(多世代交流)



高齢者見守り活動



住民懇談会

神田地区活動計画



元気いっぱい ふれあいの神田

笑い声の聞こえるまち、いつまでも住み続けたいと思うまちをめざして、住民やいろいろな団体がともにつながり、みんなにやさしい地域づくりを行います。

神田地区の理想の地域

- あいさつができるまち
- 気軽に相談ができるまち
- 子どもがいきいき過ごせるまち
- 高齢者が仲良く集えるまち
- 地域で助け合って楽しく生活できる
- 集まりやすい場がある
- 世代を超えた交流がある
- 近所の人たちと交流がある
- 安心して生活できる
- 日ごろから顔の見えるつながりがある
- 緑や花のあふれるまち



理想の地域を
実現するために

①居場所をつくる

- 子どもや高齢者が一緒に集える場所
- 未就園児の子育て広場
- 高齢者が出かける場所⇒散歩コースを紹介
- 誰もが楽しく集える場所
- 幅広い世代が集まるサロンを定期的開催⇒顔見知りを増やす

point

ベンチや池、花壇などの休憩場所が集う場になる

②つながりをつくる

- 誰でも参加できるイベントの開催
 - ・住民運動会（地域の高齢者やキッズランドと連携）
 - ・フリーマーケット、縁日、スポーツなど楽しめるもの
 - ・お祭り
 - ・清掃活動
 - ・防災訓練
 - ・ビンゴ大会
 - ・料理教室
 - ・花いっぱい活動
 - ・会館で子ども中心の行事の開催

point

- ・話し合いからもつながり生まれる
- ・小学校に集まって行うイベントにすると、子どもも関わってくる

- 高齢者と子どもとの交流

⇒例：子どもが高齢者へ肩たたきをしてスタンプを集め、商品と交換

- 得意なことを活かしてつながる

⇒例：近所の電球交換などをする
昔遊びなどを子どもに教える

point

男性が仕事を辞めた後の活躍の場として＝担い手不足の解消

- 地域のイベントに新しく移り住んだ住民も参加しやすいようにする

- 高齢者（特に独居）への見守り活動を子どもが行う

- 地域の企業と一緒に活動を行う

- 自分から進んで近所の人に声かけするようにする

- 隣近所の人とつながる

- 各団体の情報共有する場をつくる

- 自分たちが学びたいことの講習会を開く

point

- ・共有する場があることで新しいアイデアが出てくるかもしれない
- ・若い人の意見を聞く

③情報

- 地域資源の見える化をする

⇒様々な活動があるが、そもそも知らないから参加できない

- 回覧板、スマートフォン、掲示板などを使って情報共有

- 広報の仕方を工夫する

⇒例：イベント時にそこで遊んでいる子どもに声をかけたら、保護者や人がいっぱい集まったことがあった



ほっこりサロン(多世代交流)



わいわいまつり



住民懇談会

緑丘地区活動計画



助け合う 緑丘地区の和

自然豊かなまち、緑丘。みんなが協力して、住んで良かったと感じられるまち、安心して暮らせるまちをめざして活動に取り組んでいきます。

緑丘地区の理想の地域

- 災害時や困った時に気軽に助け合える地域
- 隣近所で親しく声を掛け合うつながりがある
- 行き交う人と自然にあいさつができるまち
- 高齢者と若い世代など世代間の交流のあるまち
- 各団体との交流がある
- 人とのつながり、いろいろな集まりの場がある
- 閉じこもり、認知症の方々にとっても住みやすい地域
- 住民同士の助け合いなど公的サービス以外にも使えるサービスがある



理想の地域を
実現するために

①つながりづくり

- お隣とのつながりを深めていく
- 住民が声を掛け合える関係づくり
- 男性の活動への参加
- 家庭で、地域で、学校で、まずあいさつをする
- 各団体がつながり、現状を知り、情報共有をし、協力関係をつくる
- 団体間で話し合いをし、活動の報告会、情報交換できる場をつくる
- 住民懇談会を継続して実施する
- 様々な世代の人達が低料金で活動を行う



②交流の場づくり

- 高齢の方々との交流の場
- 身近な場所で気軽に集える場
- ちょっとした顔見知りを作れる場
- 子どもが自由に考えて行動できる居場所
- 学校を利用した多世代交流の場
- 高齢者から若い世代へ教える
- 公園で子どもたちが楽しく遊べる、集まれる場
- 先輩などから話を聞ける、出産前後の人がゆっくりできるサロン
- 学校を使って朝ごはんカフェ
- 子どもと大人と一緒に入れるカフェ
- 体を動かすサークル活動
- 子ども参加の行事。子どもたちが楽しく地域の人と関わる
- 高齢者と子どもがいつでもふれあえる場
- 子ども・大人・高齢者がワクワクするような場を作る
- 定期的なイベントを開催し、地域の人と関わる

point

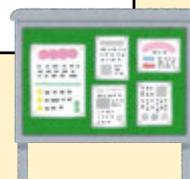
- ・働いている人も参加しやすい、場所、日時の設定
- ・空き家、空き地などの活用

③情報発信

- 地域の資源をリストアップして、掲示板でPRし、利用してもらう
⇒掲示板への掲示方法も周知しておく
- チラシやSNSで団体のことや活動の周知を行っていく
- 地区福祉委員会広報紙「みどり」の内容の充実

point

- ・SNSは調べないと情報が出てこないなので、掲示板の活用は大切



グリーンカフェ(多世代交流)



ふれあいサロン



住民懇談会

石橋地区活動計画

一人ひとりが生き生きと！
心つながって 笑顔のまち



今ある活動の中で、
未来にもつながる活動は…

様々な団体と協力し合い、伝統行事を開催
多世代が集い、つながる機会



令和4年 納涼大会 石橋公園

地域のあたたかな見守り・声かけ訪問活動



小地域ネットワーク活動
熱中症対策・水と塩飴訪問

学生や多くの団体・住民・行政・社協も参加



令和4年8月27日(土)
住民懇談会 井口堂北会館

石橋地区の理想は…

- ・誰もが集まりやすい場所づくりが進んでいるまち
- ・子どもから高齢者まで、孤立することなく安心して暮らせるまち
- ・一人ひとりの個性を本当の意味で大事にするまち
- ・外国の方や転入者、若い子育て世帯も、単身の学生もつながるきっかけやつながりを実感できる
- ・福祉施設との連帯や、それぞれで活動してきたグループ・団体の枠を超えた交流ができるまち
- ・ずっと続けてきた地域の行事、イベントを今後も継続

実現するために、私たちができることは…

- ・いろいろな世代・団体と情報共有できる機会を作ろう！
- ・情報を深掘りできる、井戸端会議を増やそう！
- ・助け合いをすることは、まちを好きになることにつながる！
- ・趣味を持つ高齢者と子どもたちと何か活動できないかを考えてみては？
- ・石橋地区に住みたい！と言われる地区にしよう！
- ・「必要な人に情報や思いが届かない」などジレンマがあっても、やりたいことをやっていたら、きっとできる！それが当たり前のようなになったらいい！

未来へ向けて
力を合わせて
取り組んでいこう！

世代を超えてつながる機会をつくる！

- ・全世代を巻き込んで、楽しい行事を！
(例) 学校キャンプ…校庭にテント、キャンプファイヤーなど
数十年前に実際にあった行事
⇒ここから知り合いづくり、つながりづくり、団体などのボラン
ティアの呼び込み、団体が集まるきっかけづくりができる！
⇒防災や学び合いの機会にもなる！
- ・つながりの薄い人に対しても働きかけをしよう！
- ・気軽に参加しやすい工夫も考えよう！

縦(多世代)と横(団体間)のつながりをつくる意見交換の場をもつ

- ・一緒にできる人を探せる場。互いを知り、視野を広げられる場に参加しよう
- ・学生や若い世代も呼びかけよう。その時のテーマに応じて、子どもから高齢者まで、多様な人が集い、各団体・関係機関の垣根を超えた意見を交換しよう ⇒ **縦(多世代)のつながり**
- ・団体間で一緒に考え、企画・実行へ。協力し合い取り組もう ⇒ **横(団体間)のつながり**

今ある資源を工夫して 共に取り組む！

- ・今ある地域の行事を、これからも皆で一緒に！
(例) 納涼大会
⇒全世代が地区の行事に参加することで、一緒に楽しむ。地元が好きになる！
⇒行事に関わると、地区へ貢献することの必要性に気づく！
⇒団体に所属していない人も呼び込もう！
- ・地域の施設・関係機関との関わりや交流の機会を増やそう！
- 👉一緒に取り組むことで、新たな担い手の獲得にもつながる！

私たちのまち 石橋から発信を！

- ・互いに声をかけて、地域づくりをすすめよう！
⇒無関心ではなく、ご近所同士でいつでも声をかけ、助け合いを続けていこう
⇒縦(多世代)のつながりを大切にしてい
くことで、声かけしやすいまちにしよう
- ・地域のよさ、実現したい活動を、学生など人を巻き込んでPRしよう！
⇒各団体の広報紙や掲示板の活用と共に、SNSで写真を投稿したり、知り合いへの声かけをしたりなど、活動やその魅力と思いを発信していこう
⇒時に、アイデアを募集してみるのも◎

一人ひとりの「できることから、やろう！」を重ねていこう！

北豊島地区活動計画

皆がまちを好きになれる
共生の場とつながりをつくろう



今ある活動の中で、
未来にもつながる活動は…

子育て世帯と高齢者が集いふれあう機会



子育てサロン×ふれあいサロン合同運動会

地域の団体と資源が協力し合う



地域子育て支援拠点「てしまの森」
誕生日会に、地区福祉委員が協力

学生や多くの団体・住民・行政・社協も参加



令和4年7月24日(日)
住民懇談会 北豊島プラザ

北豊島地区の理想は…

- ・認知症になっても住みやすいまち
- ・子どもたちが元気で、笑顔ではしゃぐ声が聞こえ、若い世代が住みやすい地域
- ・地域・保護者・学校が、顔の見える関係でいられるまち
- ・組織間の交流がすすむまち
- ・誰もが気軽に集える場所があって欲しい
- ・皆で交流ができるまち
- ・何かあったらすぐ手助けをしてくれるまち

実現するために、私たちが**できる**ことは…

- ・話し合いの場をもとう！
- ・各世代の交流をしよう
- ・地域に根付いたイベントをやろう！
- ・シニアのパワー、人材を活かそう！
- ・安全・安心で住みよいまちにするために協力しよう！
- ・高齢者から子どもへの声かけを！
- ・困っている人に気軽に声をかけよう！
- ・地域の見守り活動に参加していこう！
- ・公園の水やりから、声かけ合いへ！

そこから地域の
ことを知ることが
できる！

未来へ向けて、力を合わせて
取り組んでいこう！！

様々な団体・組織間との交流・意見交換をする！

- ・様々な団体が集まり、意見交換ができる機会をもとう！
- ・まずは「**お互いを知る**」ことから始めよう！
- ・参加したメンバーは、各自団体へ報告。意見を収集し、また他団体との**意見交換の場**へ循環⇒企画へ。できることからやろう！



今ある資源を組み合わせる！



- ・同じような取り組みを、合同で開催することも考えてみよう！
(例)・清掃イベント⇒団体と団体を組み合わせて実施
顔見知りが増え、お互いさまの関係へ！
- ・団体や地域資源と協力してできる活動をやってみよう！
(例)・お祭りを企画⇒子どもも若者も高齢者も、つながりの薄かった方々と共に力を合わせてできる機会！防災にもつながる！
- ・身近な場所で相談し合える関係をつくろう！
 - ・何気ない会話の中で、悩みごとや心配ごとが話せることもある
 - ・見守りや声かけ、サロンやイベント、各団体の定例会や会議などで出てきた相談を専門職や関係機関とも協力し合える方法を考えよう！

世代を超えてつながる！

- ・子ども・若者から、障がい者も高齢者も、誰でも参加できる場と機会を作ろう！
「あなたの特技を教えて」など、頼られたらうれしい住民もきっと多いはず。様々な人が集い、話を聞く場と機会を増やしていこう！
- ・他団体の活動にも参加していこう！
出向いて参加を呼びかけよう！
参加すること、出向くことで顔見知りが増え、まちがどんどん好きになる。つながりの薄いところにも、出向いて情報を発信しよう！

あきらめず関わり続ける！

- ・お互いが気にかけて、関わり続けることを大切にしよう！
関わりが難しいと感じても、あきらめずに声をかけ合おう！身近な見守りや助け合いの輪を広げ、関わり続けることが理解につながる
- ・つながりの薄いところに、意識を向けて関わる方法を考えよう！
参加状況や活動を振り返りながら、つながりの薄いところ(人・団体・エリア)についても、目配りや心配りができる方法を考えよう。まずはできるところから取り組んでいこう！



どこから取り組んでいっても、つながっていく！

石橋南地区活動計画

一人ひとりが大切にされる
つながりづくりを共に!



今ある活動の中で、
未来にもつながる活動は…

様々な団体が協働してできる
多世代がふれあう機会



もちつき大会

学校と地域の団体・子ども・学生が協力



ふれあいスポーツフェスタ

学生や多くの団体・住民・行政・社協も参加



令和4年10月16日(日)
住民懇談会 石橋会館

石橋南地区の理想は…

- ・ 世代を超えた交流と出会いの機会が多いまち
- ・ 高齢者も、子どもたちも、若者も、働き世代も、垣根なく、のびのびと活躍するまち
- ・ 団体の枠を超えた話し合いと協力ができるまち
- ・ 地域のつながりが多く、気軽に声かけができるまち
- ・ 自然と集える場所があり、活気あるイベントが多数
- ・ 全年齢の方が集まるような場所づくりやつながりづくりとしていきたい
- ・ 孤立している人を減らしたい

実現するために、私たちができることは…

- ・ 地区内の細かなエリアで話し合いの場をもとう!
- ・ 各世代がふれあえる場所をつくり、積極的に参加しよう!
- ・ 組織を超えてコミュニケーションをとろう!
- ・ 人材・担い手の研修や講習会を団体の枠を超えて開催!
- ・ 大阪大学の学生をはじめ、学生との関わりももとう!
- ・ 日頃からお互いを気にかけて、声かけ合おう!
- ・ 一人ひとりの特技を活かし、発表する場をつくろう!
- ・ 一緒に集まり、計画し、一緒につくりあげるつながりづくりが、継続できるように取り組んでいこう!

未来へ向けて、力を合わせて
取り組んでいこう！

だれひとり取り残さない！

つながりの薄いところにも目を向けることを忘れずに！

様々な団体・組織間と協力して一緒につながりづくりを！

- ・熱い思いを持って活動している人が多いまち。バラバラで活動するのはもったいない！！
- ・それぞれの団体を知るためにも、話し合いの機会をもとう！そして、一緒に企画していこう！
- ・様々な年代が混じり、一緒に体験することから、気づきが生まれる。単発で終わらず、継続できる形を考えるために必要な人・資金についても、各団体で協力し合おう！
- ・目の届かないところに孤立している人がいる。参加がしにくい方、情報が届きにくい方にも寄り添う気持ちを忘れずに、つながりづくりを考え続けよう！

つながりの機会は世代を超えた形！

今ある機会を活用しよう！

すでに実施されている機会を活用しないのはもったいない！今ある活動や機会に新たな価値を加えて考えよう！

団体のPRの機会も考えよう！

全世代が参加できる機会を通して、活動者・団体のことも知ってもらおう！
⇒ 学び合いの機会や担い手確保へ

つなぐ役割も必要！

見守り・声かけのネットワークを広げよう！

ちょっとした日常での困りごとを拾い、つながりづくりに活かそう！日頃の見守り声かけの輪を広げることで、声の届きにくい方へのつなぎ役も増える！

おせっかいは裏切らない！



一人ひとりが主役！

どの人も活躍できる機会をつくろう！

- ・できることを活かせる場は、生きる意欲につながる。その人の特技を発表する場も考えよう！
- ・支える支えられるを超えた、「お互いさま」「いつもいるよ」の思いが、安心感につながる！
- ・属性や世代を超えた関係づくりを共に！

情報を届ける！

情報共有と情報発信を工夫しよう！

- ・「知る機会」を考えることは、孤立を防ぐことにもつながる
- ・掲示板やSNSなどの情報ツールを活用しよう
- ・地区福祉委員会や民生委員・児童委員など、今ある団体と協力して発信・PRをしていこう！



あたたかなまち石橋南へ！まずは一緒にやっいていこう！